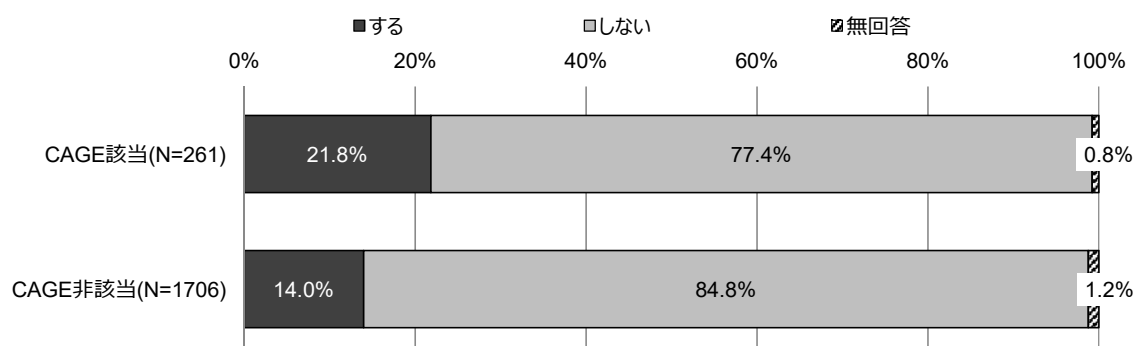


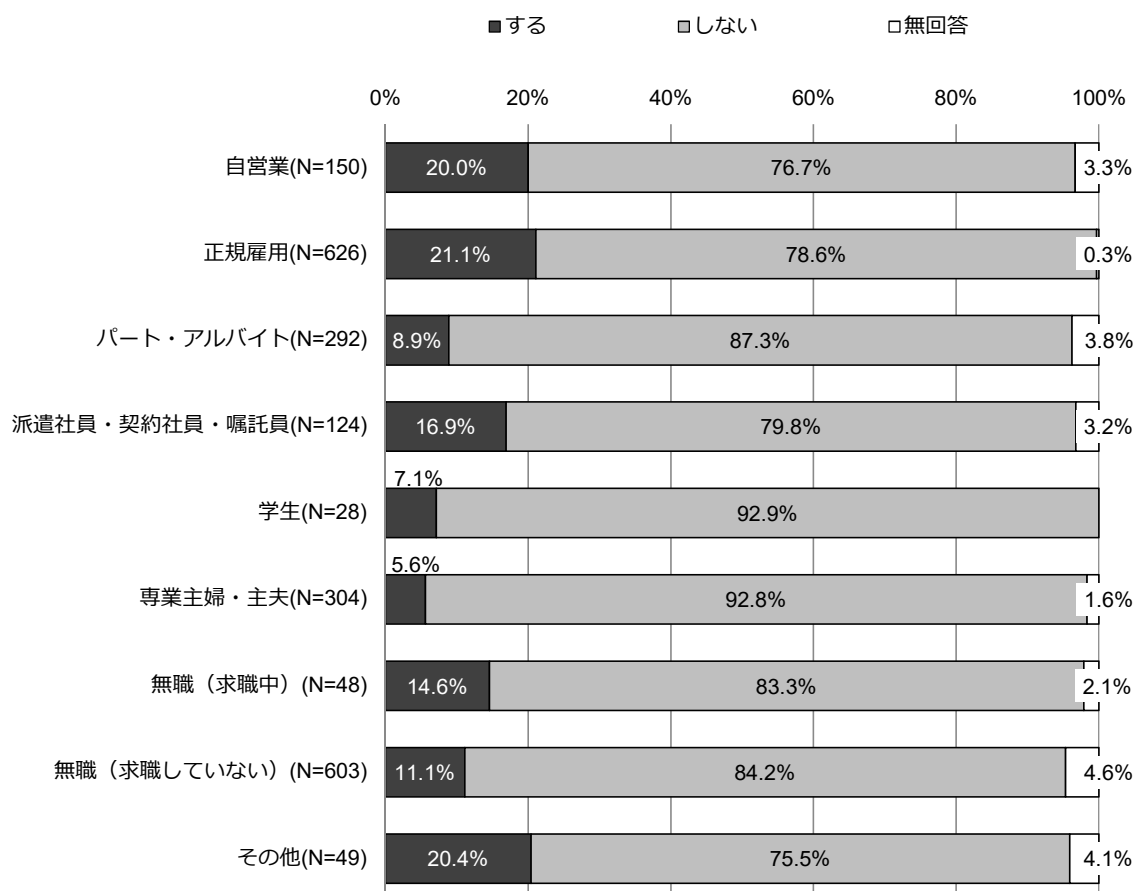
○ ギャンブルとCAGE該当との関係

CAGE該当との関係では、「ギャンブルをする」人の割合は、「CAGE該当」21.8%に比べて、「CAGE非該当」14.0%であり、7.8ポイントの差があった。



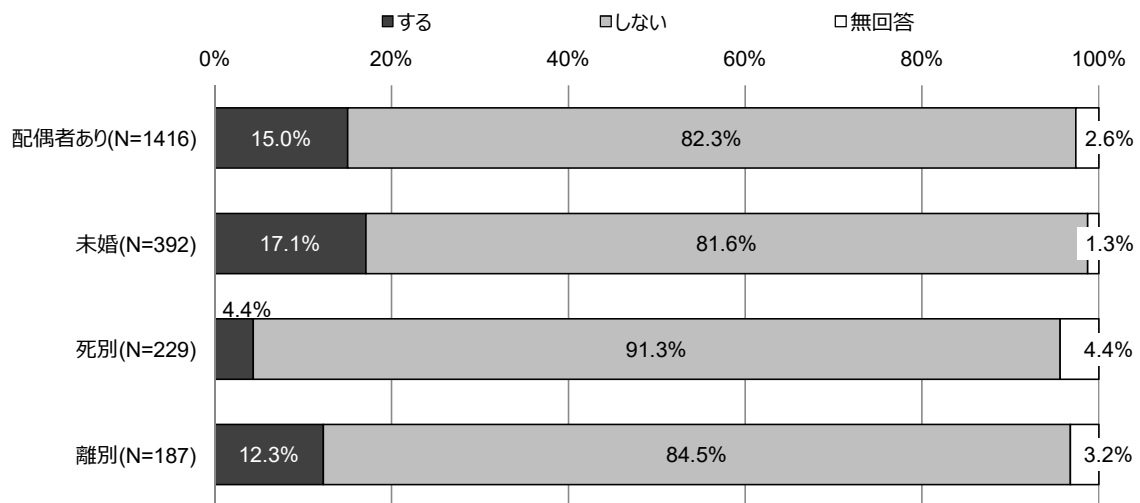
○ ギャンブルと就労状況との関係

就労状況との関係では、「ギャンブルをする」人の割合は、「正規雇用」が21.1%で最も高く、次いで「その他」20.4%、「自営業」20.0%であった。



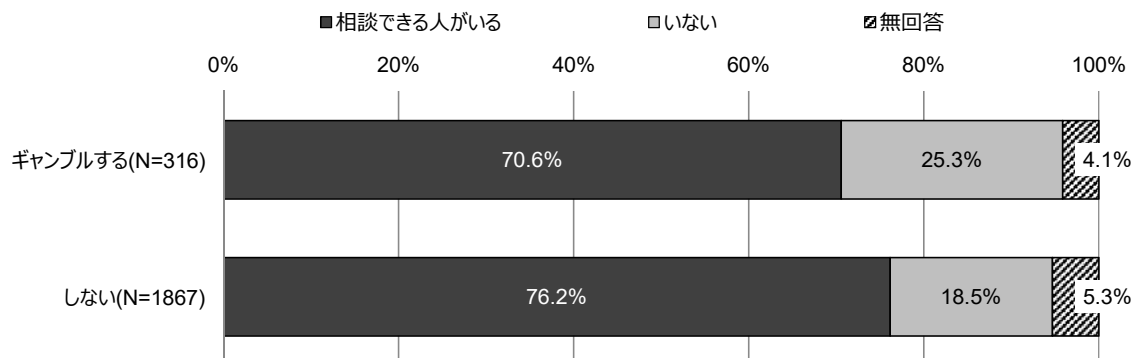
○ ギャンブルと配偶者の有無との関係

配偶者の有無別では、「ギャンブルをする」人の割合は、「未婚」が17.1%で最も高く、次いで「配偶者あり」15.0%、「離別」12.3%であった。



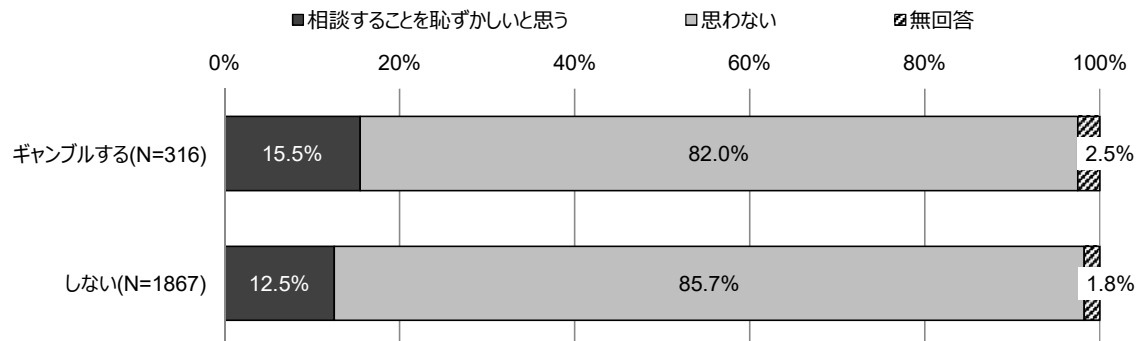
○ ギャンブルと相談できる人の有無との関係

悩みやストレスを相談できる人の有無との関係では、「相談できる人がいない」人の割合は「ギャンブルをする」25.3%に比べて、「ギャンブルしない」18.5%であり、6.8ポイントの差があった。



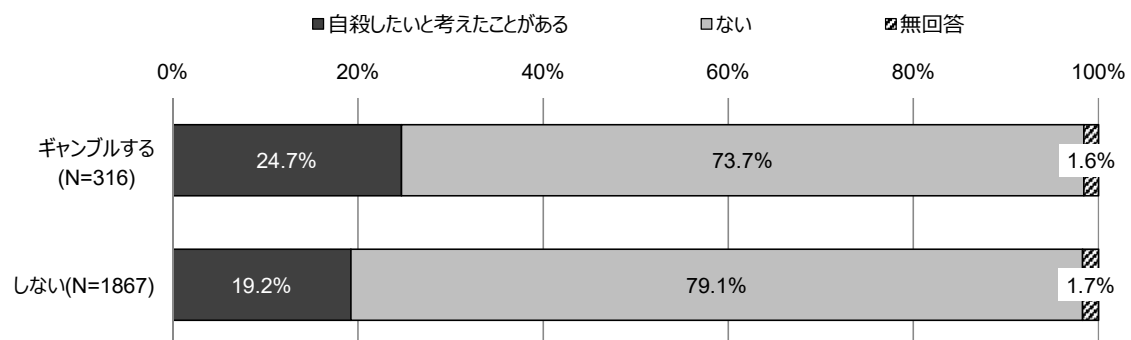
○ ギャンブルと相談することを恥ずかしいと思う気持ちとの関係

だれかに相談したり助けを求めたりすることへの恥ずかしさとの関係では、大きな差異はみられなかった。



○ ギャンブルと自殺したいと考えたことの有無との関係

自殺したいと考えたことの有無との関係では、「自殺したいと考えたことがある」人の割合は、「ギャンブルをする」24.7%に比べて「ギャンブルをしない」19.2%であり、5.5ポイントの差があった。

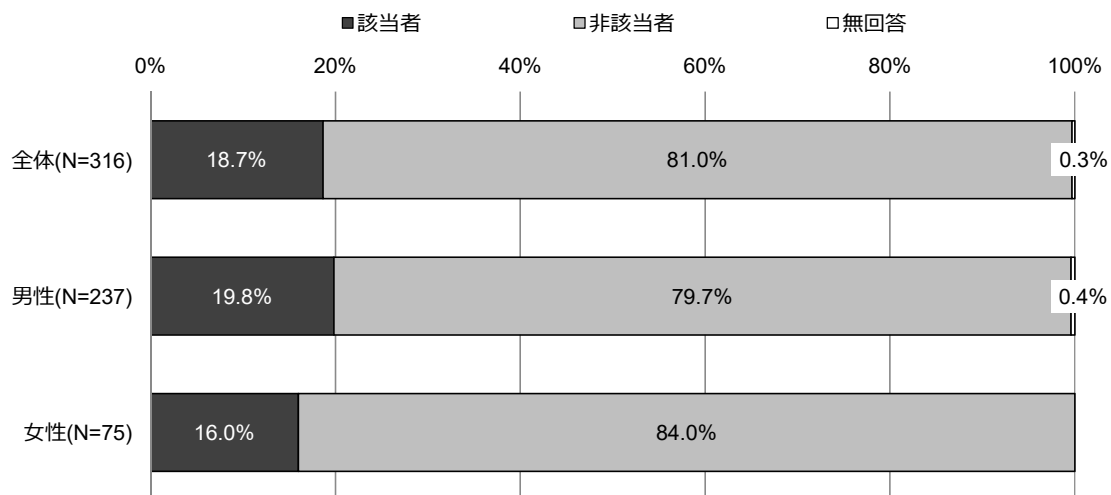


問 24-1 あなたのギャンブルの状況についておたずねします。

ギャンブルを「する」と回答した人に対し、The Lie/Bet Questionnaire という 2 つの質問を行った。2 項目のうち 1 項目でもあてはまれば、ギャンブル依存の可能性がある。

この「該当者」の割合は、18.7%であった。

性自認別では、「該当者」の割合は、「男性」19.8%、「女性」16.0%であった。

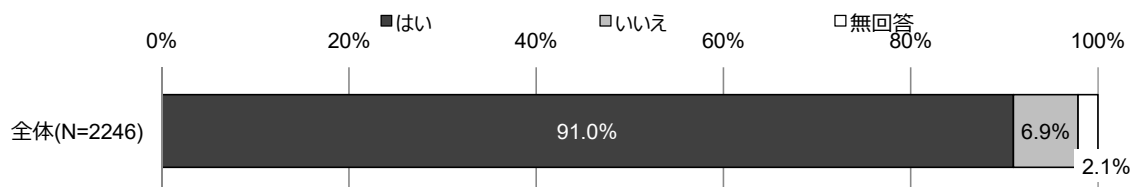


4 地域生活について

問 25 この1週間のあなたの生活についておたずねします。あてはまるもの1つに○をつけてください。

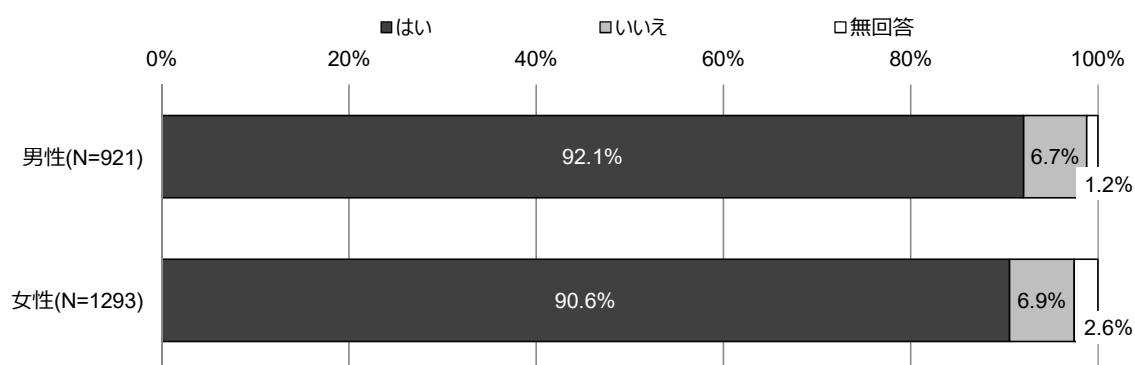
① 外出しましたか

この1週間に「外出をした」人の割合は91.0%であった。



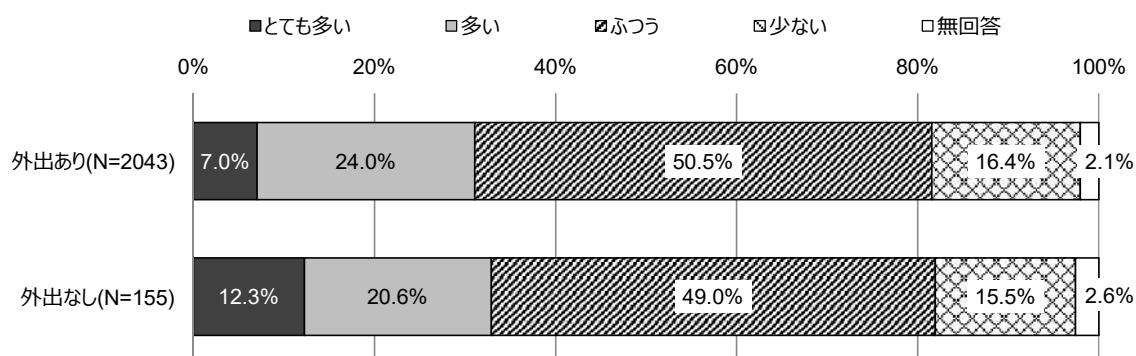
○ 外出の有無と性自認との関係

性自認別では、「男性」と「女性」に大きな差異はみられなかった。



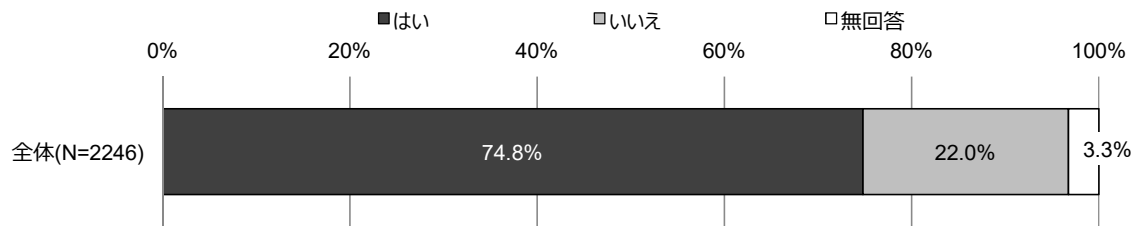
○ 外出の有無と日常のストレスとの関係

この1週間に「外出をしなかった」人の12.3%が日常のストレスが「とても多い」と回答した。一方、この1週間に「外出をした」人で、日常のストレスが「とても多い」と回答した人の割合は7.0%であり、5.3ポイントの差があった。



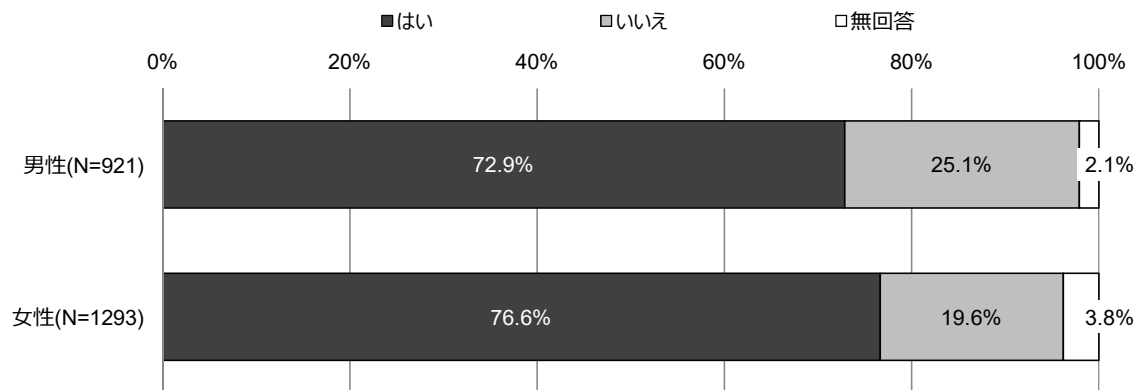
② 友人・知人と世間話をしましたか

この1週間に「友人・知人と世間話をした」人の割合は74.8%であった。



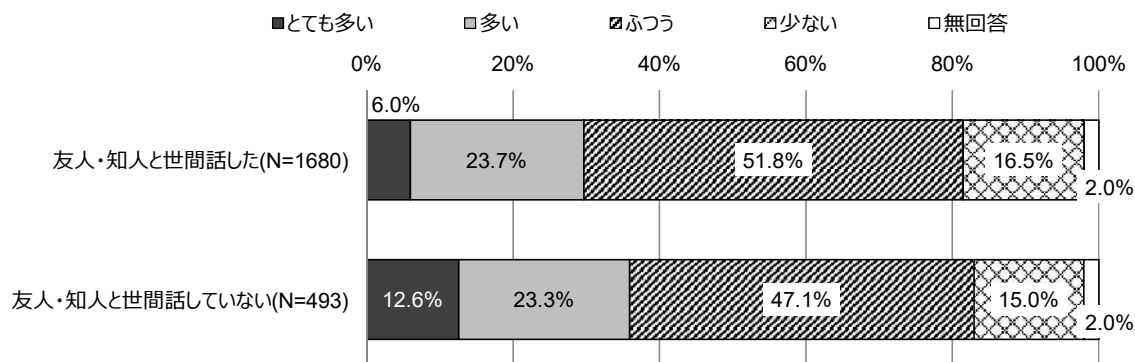
○ 友人・知人との世間話の有無と性自認との関係

性自認別では、この1週間に「友人・知人と世間話をしていない」人の割合は、「男性」25.1%に比べて、「女性」19.6%であり、5.5ポイントの差があった。



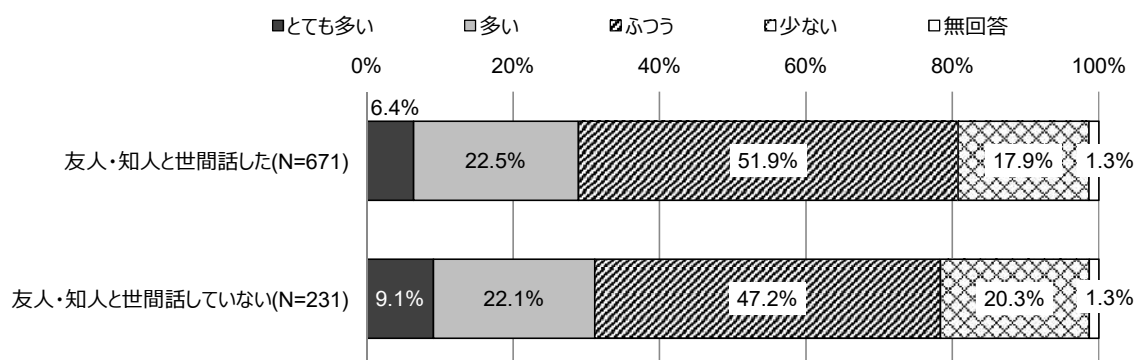
○ 友人・知人との世間話の有無と日常のストレスとの関係

この1週間に「友人・知人と世間話をしていない」人の35.9%が日常のストレスが「とても多い」「多い」と回答した。この1週間に「友人・知人と世間話をした」人で、日常のストレスが「とても多い」と回答した人の割合は29.7%であった。



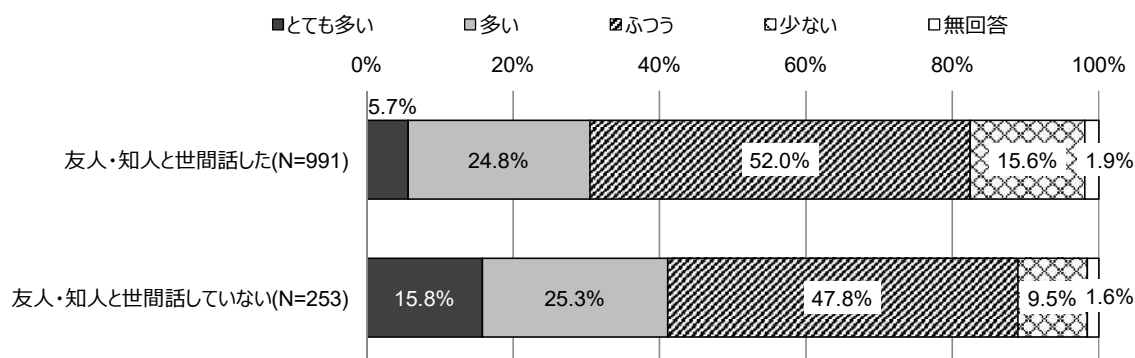
○ 友人・知人との世間話の有無と日常のストレスとの関係（男性）

「男性」は、「友人・知人と世間話をしていない」人と「した」人との間で、日常のストレスの感じ方について、大きな差は見られなかった。



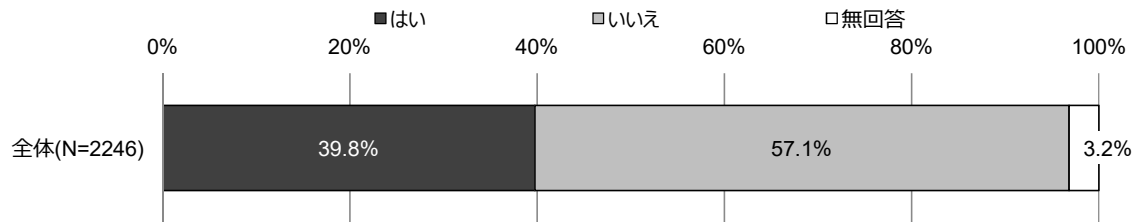
○ 友人・知人との世間話の有無と日常のストレスとの関係（女性）

「女性」は、この1週間に「友人・知人と世間話をしていない」人の41.1%が日常のストレスが「とても多い」「多い」と回答した。この1週間に「友人・知人と世間話をした」人で、日常のストレスが「とても多い」「多い」と回答した人の割合は30.5%であった。



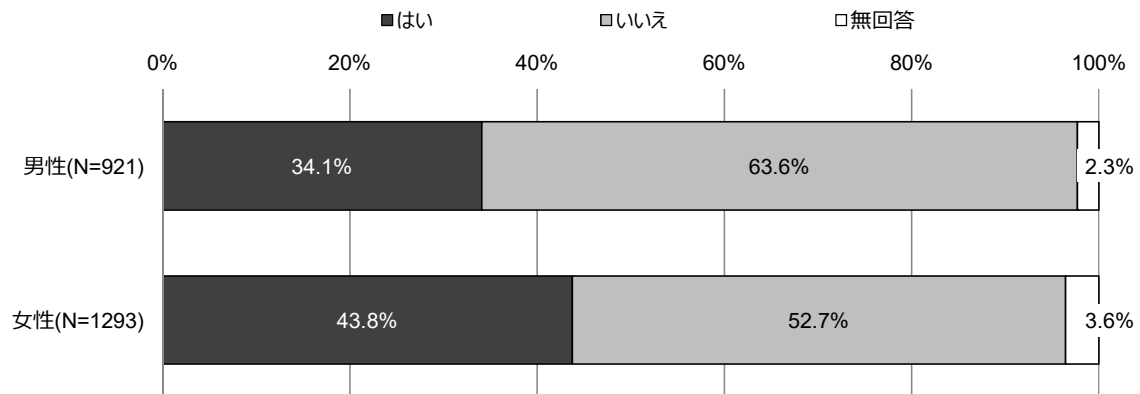
③ 近所の人と世間話をしましたか。

この1週間に「近所の人と世間話をした」人の割合は39.8%であった。



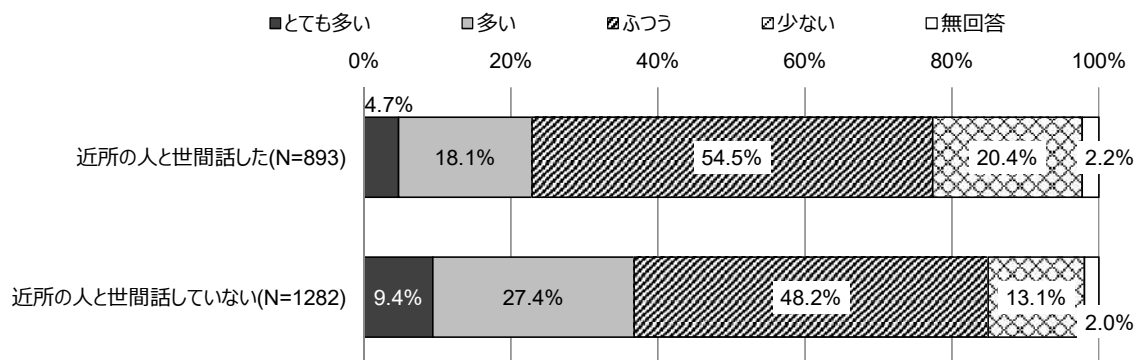
○ 近所の人との世間話の有無と性自認との関係

性自認別にみると、この1週間に「近所の人と世間話をしていない」人の割合は、「男性」63.6%に比べて「女性」52.7%であり、10.9ポイントの差があった。



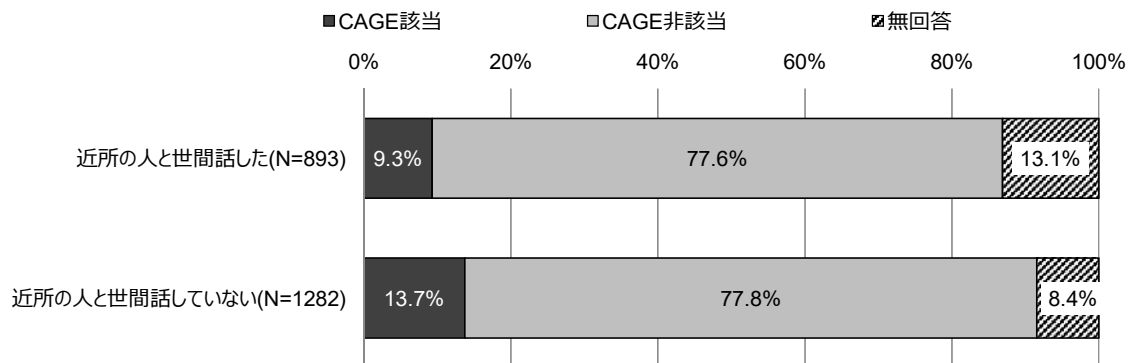
○ 近所の人との世間話の有無と日常のストレスとの関係

日常のストレスとの関係では、ストレスが「とても多い」と回答した割合は、この1週間に「近所の人と世間話をした」4.7%に比べて、「近所の人と世間話をしていない」9.4%であり、2倍の差があった。



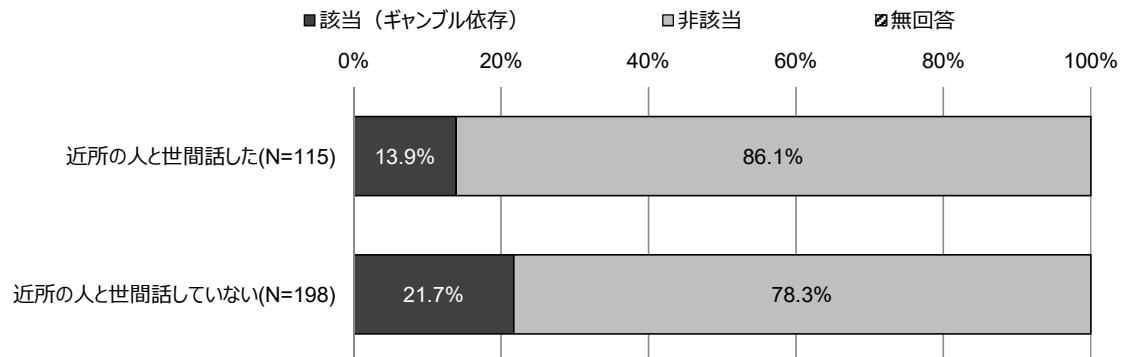
○ 近所の人の世間話の有無とCAGE該当との関係

CAGE該当との関係では、「CAGE該当」の割合は、「近所の人と世間話をしていない」13.7%と比べて、「近所の人と世間話をした」9.3%であり、4.4ポイントの差があった。



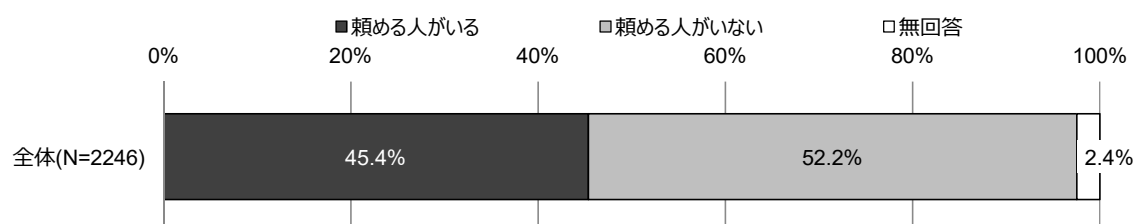
○ 近所の人の世間話の有無とギャンブル依存の可能性との関係

ギャンブル依存の可能性との関係では、「該当（ギャンブル依存）」の割合は、「近所の人と世間話をした」13.9%と比べて、「世間話をしていない」21.7%であり、7.8ポイントの差があった。



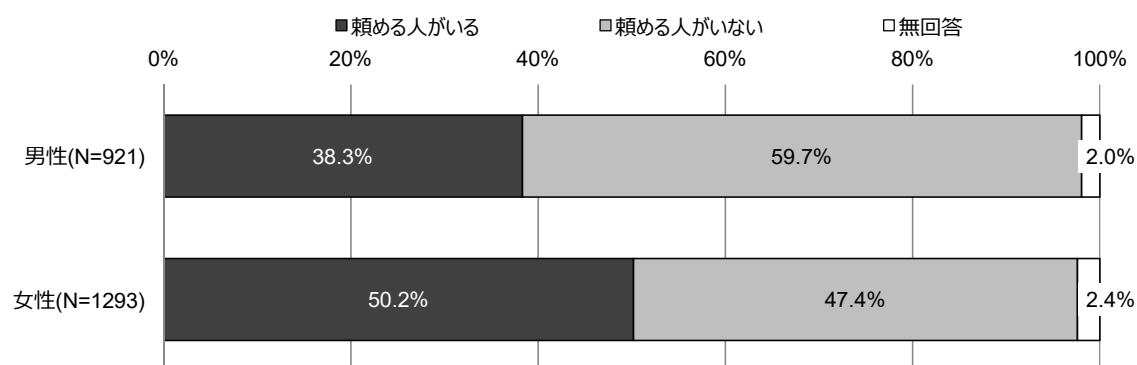
問 26 近所に、ちょっとしたことを頼める人がいますか。

「近所に、ちょっとしたことを頼める人がいる」人の割合は45.4%であった。



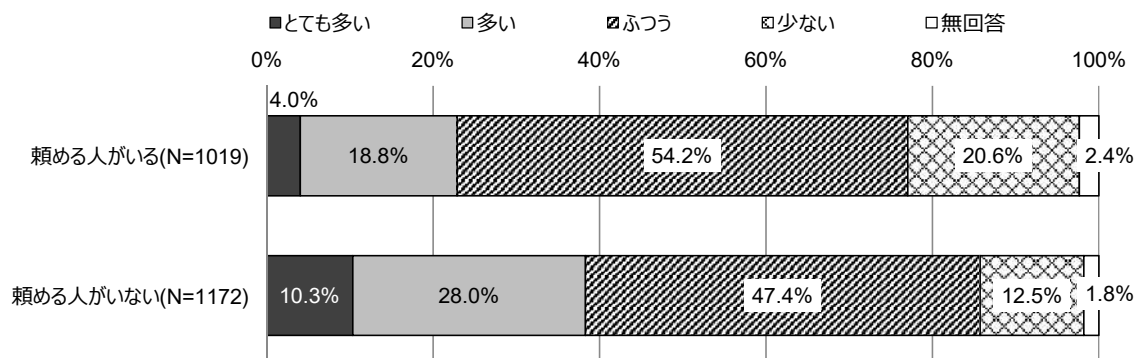
○ 頼みごとができる隣人の有無と性自認との関係

性自認別にみると、「近所に、ちょっとしたことを頼める人がいない」人の割合は、「男性」59.7%に比べて「女性」47.4%であり、12.3ポイントの差があった。



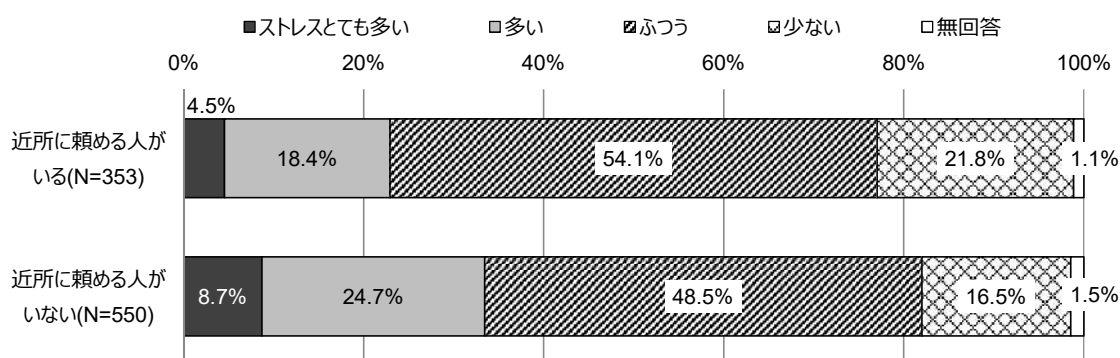
○ 頼みごとができる隣人の有無と日常のストレスとの関係

日常のストレスとの関係では、ストレスが「とても多い」と回答した人の割合は、「近所にちょっとしたことを頼める人がいない」10.3%に比べて「近所にちょっとしたことを頼める人がいる」4.0%であり、2倍強の差があった。



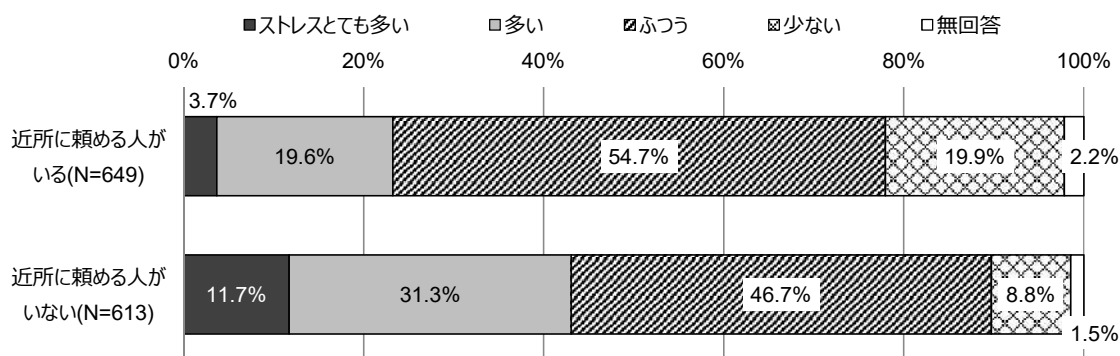
○ 頼みごとができる隣人の有無と日常のストレスとの関係（男性）

「男性」は、「近所にちょっとしたことを頼める人がいない」人の33.4%が日常のストレスが「とても多い」「多い」と回答した。「近所にちょっとしたことを頼める人がいる」人で、日常のストレスが「とても多い」「多い」と回答した人の割合は22.9%であった。



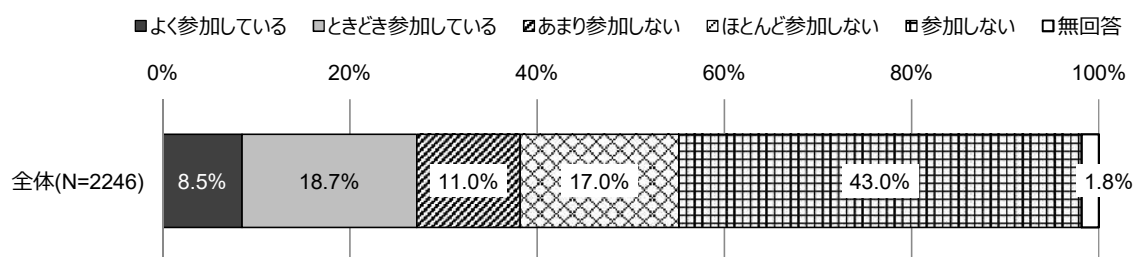
○ 頼みごとができる隣人の有無と日常のストレスとの関係（女性）

「女性」は、「近所にちょっとしたことを頼める人がいない」人の43%が日常のストレスが「とても多い」「多い」と回答した。「近所にちょっとしたことを頼める人がいる」人で、日常のストレスが「とても多い」「多い」と回答した人の割合は23.3%であった。



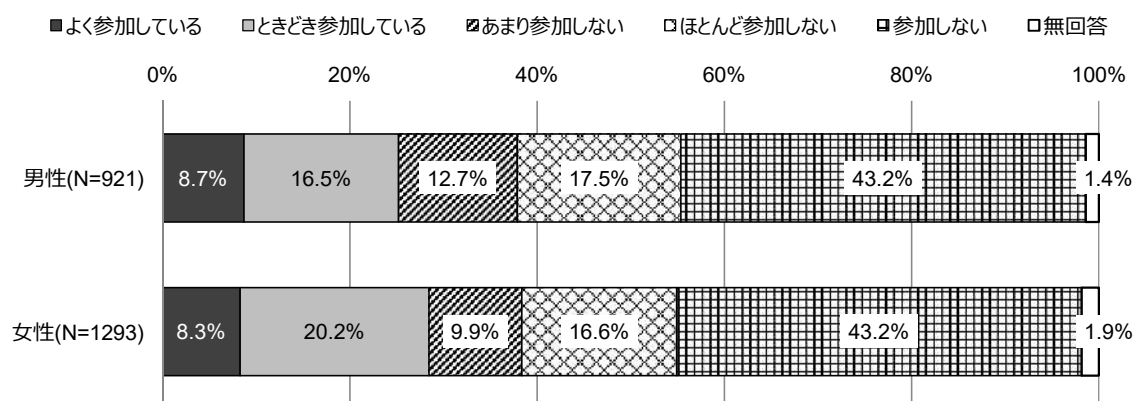
問 27 地域の行事や、近隣にある趣味の活動によく参加していますか。

「地域の行事や、近隣にある趣味の活動に参加しない」人の割合は、43.0%であった。



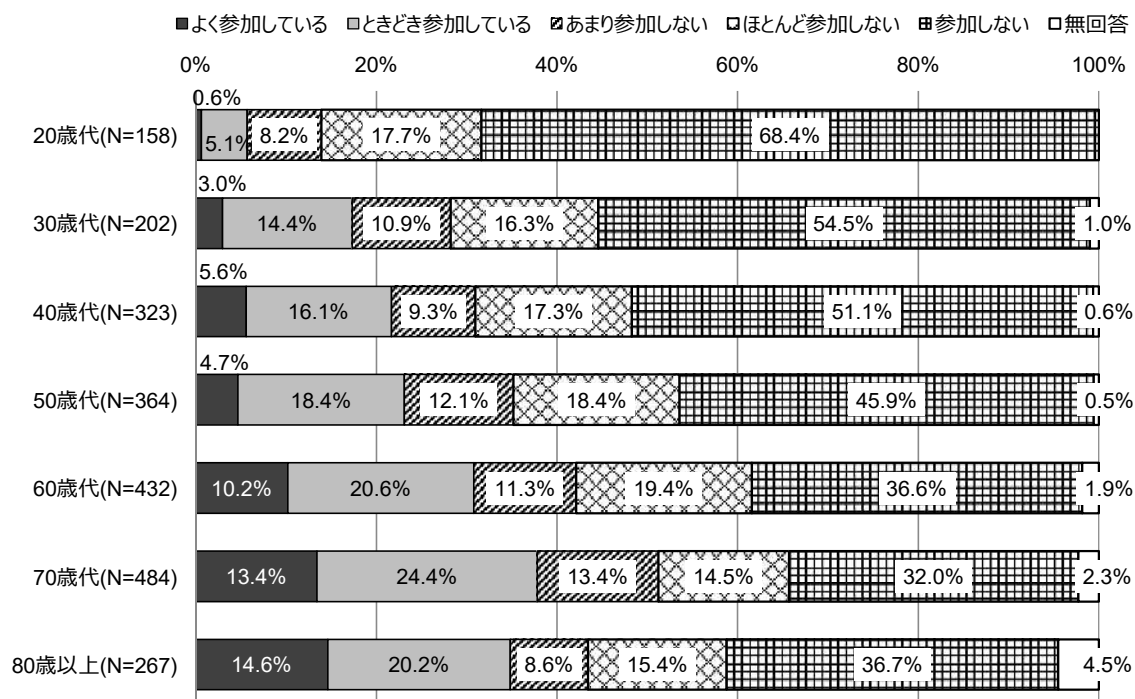
○ 地域参加と性自認との関係

性自認別では、「よく参加している」「ときどき参加している」人の割合は、「男性」25.2%、「女性」28.5%であった。



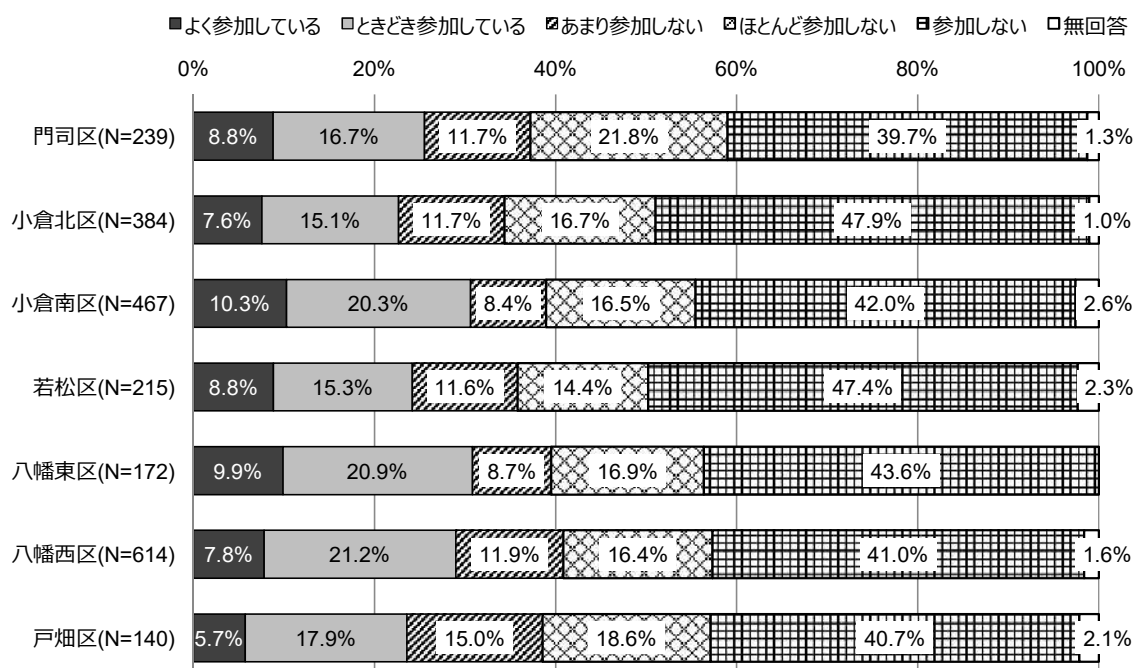
○ 地域参加と年齢との関係

年齢別にみると、「よく参加している」「ときどき参加している」人の割合は、「70 歳代」が 37.8%と最も高かった。また、「参加しない」人の割合は、「20 歳代」が 68.4%と最も高かった。



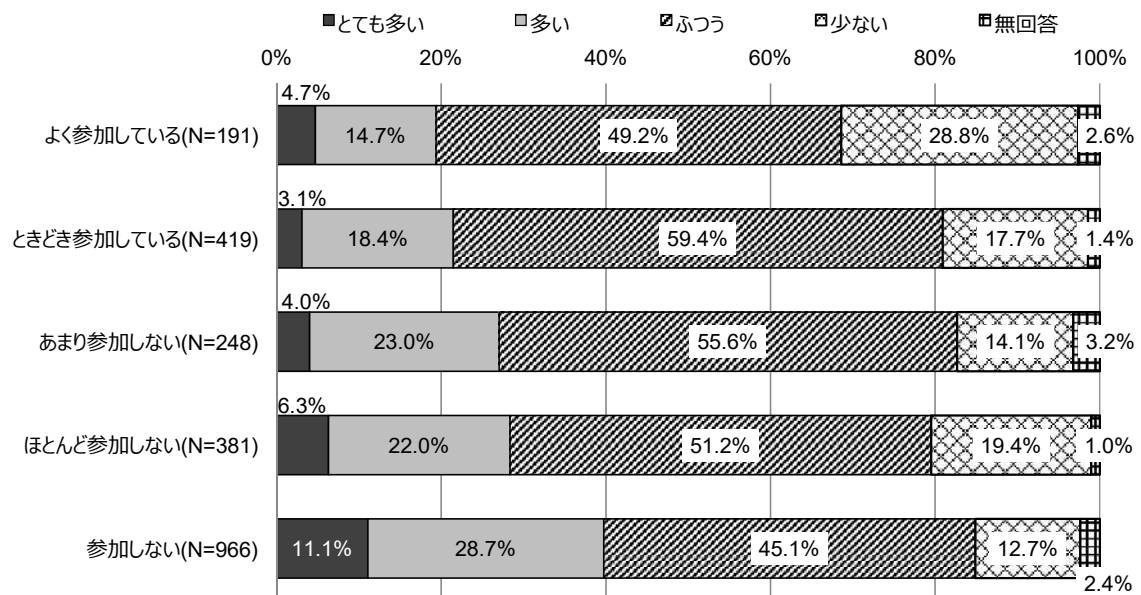
○ 地域参加と居住区との関係

居住区別にみると、「よく参加している」「ときどき参加している」人の割合は、「八幡東区」が 30.8%と最も高かった。一方、「参加しない」人の割合は、「小倉北区」が 47.9%と最も高く、最も低い「門司区」39.7%と、8.2ポイントの差があった。



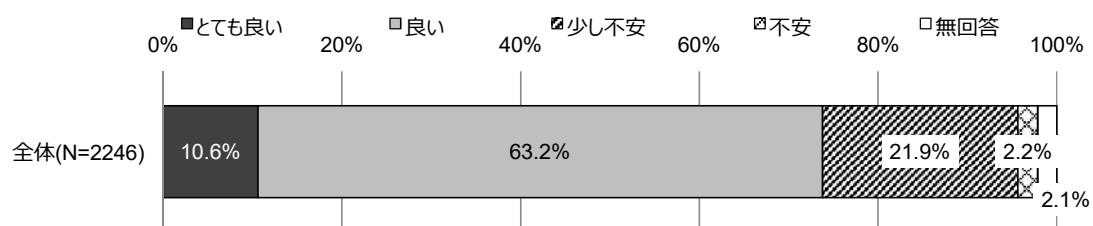
○ 地域参加と日常のストレスとの関係

日常のストレスとの関係では、ストレスが「とても多い」と回答した人の割合は、「地域の行事や、近隣にある趣味の活動に参加しない」11.1%が最も多く、最も少ない「地域の行事や、近隣にある趣味の活動にときどき参加している」3.1%と3倍強の差があった。



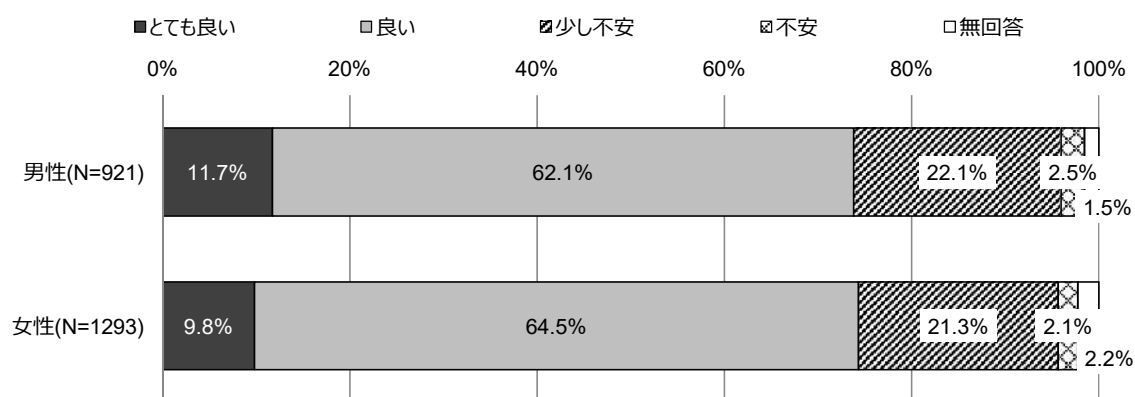
問 28 地域の治安についてどのように感じになりますか。

地域の治安について、「不安」「少し不安」と感じている人の割合は、24.1%であった。



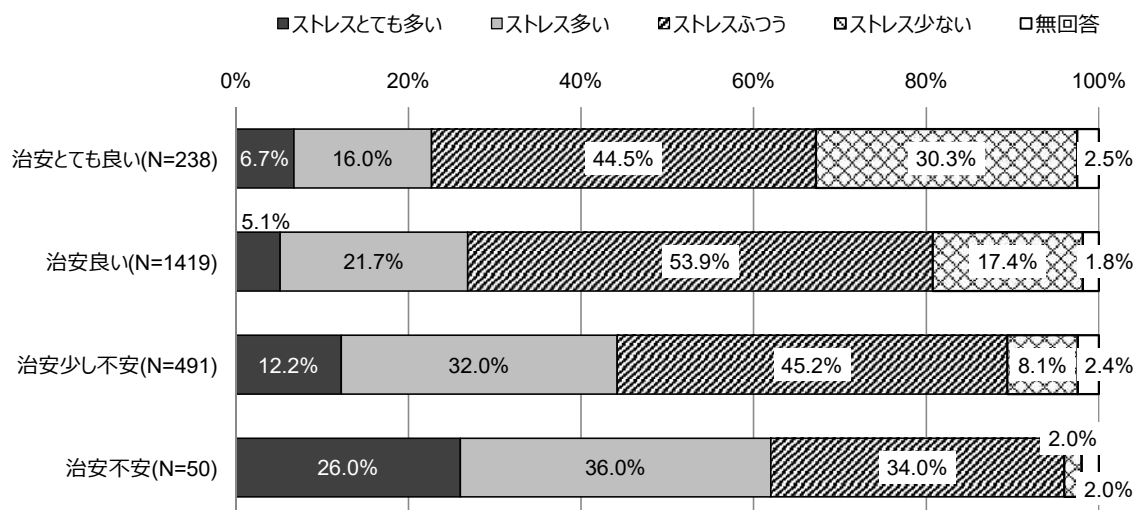
○ 地域の治安と性自認との関係

性自認別では、「男性」と「女性」に大きな差異はみられなかった。



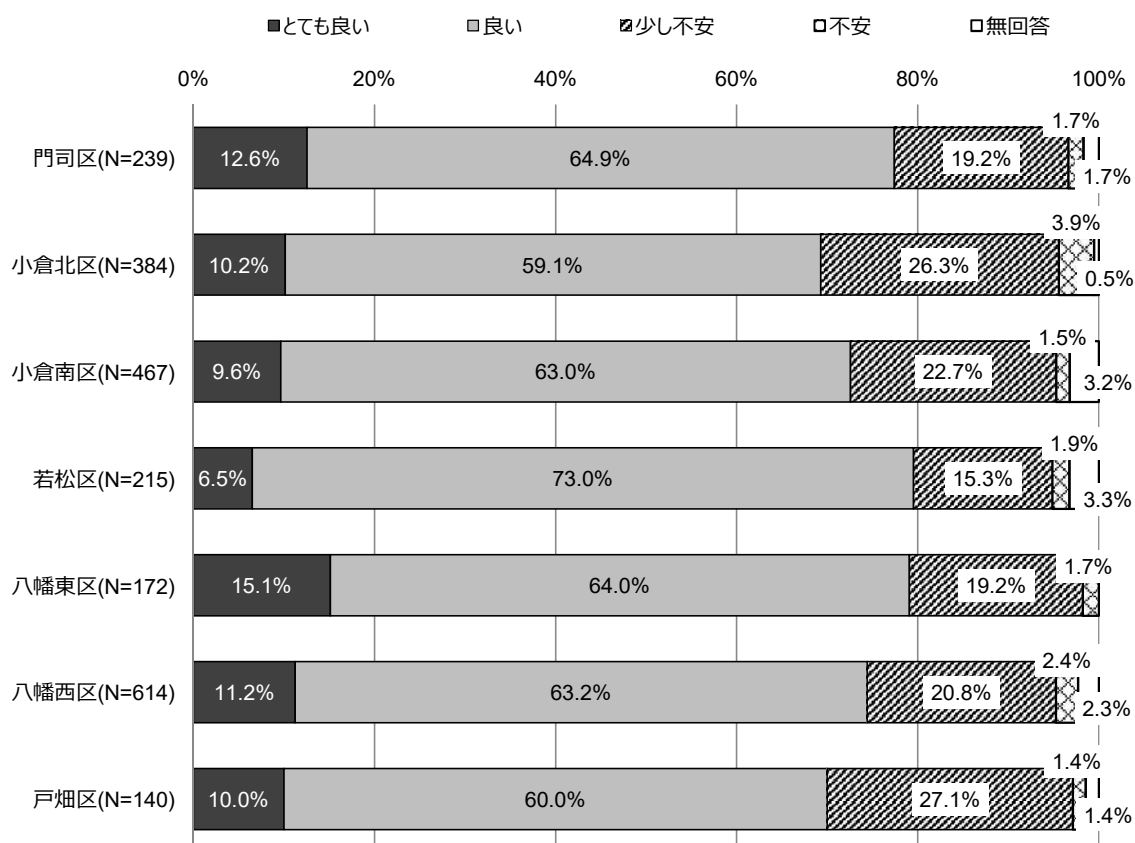
○ 地域の治安と日常のストレスとの関係

日常のストレスとの関係では、ストレスが「とても多い」と回答した人の割合は、地域の治安について「不安」が26.0%で最も高く、最も低い「治安が良い」5.1%と比べて、5倍強の差があった。



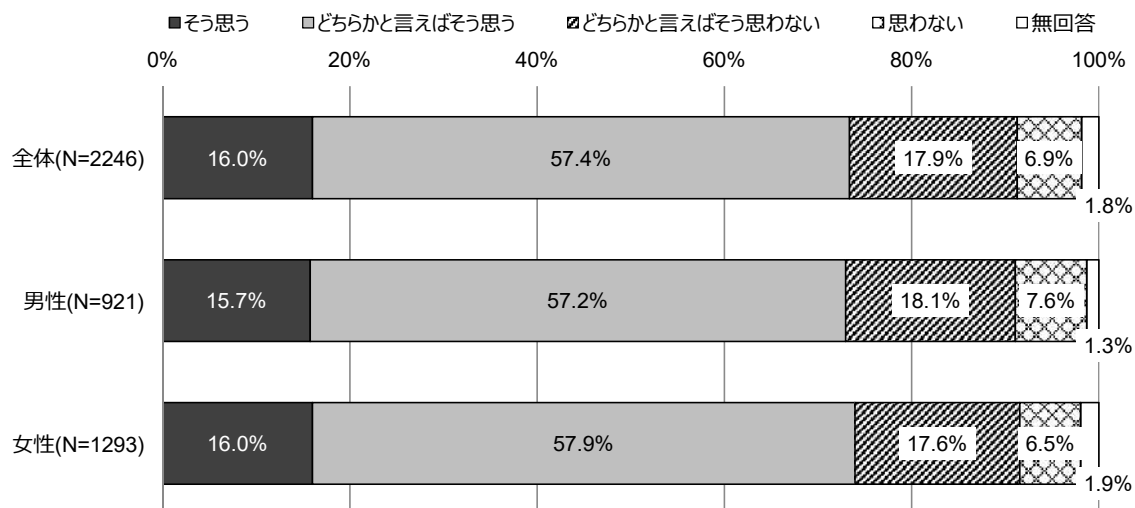
○ 地域の治安と居住区との関係

地域の治安について「不安」「少し不安」と感じている人の割合は、「小倉北区」が30.2%と最も高かった。



問 29 一般的に、あなたは人を信用するほうですか。

一般的にあなたは人を信用するほうですかという問いについて、「思わない」と回答した人の割合は6.9%だった。性自認別では、「男性」と「女性」に大きな差異は見られなかった。



○ 人を信用する傾向と年齢との関係

年齢別にみると、一般的にあなたは人を信用するほうですかという問いについて「思わない」と回答した人は、「20 歳代」が 13.9%と最も高かった。

